荒尾ウェルビーイングスマートシティ（あらおスマートシティ推進協議会）（荒尾市）

別紙２

センシング技術を活用し、さりげなく日常生活の中で健康状態がわかる「日常人間ドック」、パーソナルデータエコシステムの活用など、多様な先進技術の連携により、住民が最先端のウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）を享受できる快適未来都市を創造。また南新地地区をリビングラボと位置付け、ニューノーマル時代の新サービス創出拠点を目指す。

目標

- ●健康長寿社会の実現
  →平均自立期間
- ●あらおファンの拡大
  →荒尾市への転入者数、あらおファン（ふるさと会員数等）の人数
- ●暮らしやすいまちの基盤構築
  →荒尾が暮らしやすいと感じている市民の割合

取組概要

さりげないセンシングと日常人間ドック

「血流動態センサ」や、映った人の体調がわかる「魔法の鏡」などのデバイスをまちに埋め込み、日々の体調変化をAI解析し、結果を共有することで、市民・来訪者の健康増進が図れるシステムを構築。